



府中国際交流サロン
FUCHU INTERNATIONAL SALON

くろする〜ど

2018/7・8月合併号

府中国際交流サロンは、府中に住む日本人と外国人が、仲良く助け合ってたの楽しく生活していくことを願って、活動を続けています。

かいほうし
会報誌

〜サロン月間カレンダー7・8月〜

「高麗神社と埼玉伝統工芸会館

〜バスの旅〜

■文化交流活動

- 7月6日(金) 午前10時半〜午後1時半
「ダンス教室(ハワイアン)」無料
 - 7月13日(金) 午前10時半〜12時
「ゆかたを着る」(女性15名・男性5名)
場所: サロン託児室・第1会議室
費用: 100円(申し込みは7月9日まで)
 - 7月20日(金) 午前10時半〜12時
「生け花教室」(15名・花代500円)
場所: サロン第1会議室
- ★対象はサロン学習者またはボランティア。
★申し込みと詳しいことはサロン事務局まで。



月曜午後ボランティア 高部めぐみ

5月26日、国際交流サロンのバス研修がありました。さわやかな風と初夏の日ざしの中、大型バスで出かけました。参加者は、学習者とその家族・友人24名、ボランティア17名、市の方1名の計42名でした。

バスの中で自己紹介をしながら、はじめに埼玉県の高麗神社に向かいます。朝鮮半島から中国大陸にあった「高句麗」の高麗家を由来とした神社です。將軍標という魔よけの石の柱や、高句麗の頃の衣裳があり、日本古来の神社と趣が少し違います。桜や桧の幹の太さで歴史を感じます。立派なお社で厳かな気持ちになります。手を清める所やお供えのお酒に関心を持つ方もいて、同じ場所においても感じ方はそれぞれだと興味深く思いました。

次は、埼玉伝統工芸会館です。昔から今に伝わる手作りのものを紹介する所です。昼食の後、紙すきや布を染める体験もしました。植物から作ったとろとろしたものを、木枠の道具で揺らしながら薄くすくい取ります。それを乾かすと和紙になります。布を染める体験では、布に刷毛を使って糊を丁寧に塗りました。昔風のかっこいいエプロンを着けて、みんなで見守る中、一人ずつ順番にやります。うまくいくと拍手が起こり笑顔になりました。係の方が色を付けてくれましたが、布は灰色のままです。これがどうなるのかと思いながら、家に帰ってから水で洗うと、きれいな色と柄に染まっていた感動しました。

■「私のふるさとを語る」第6回国際ふれあい会

- 7月7日(土) 午後2時〜4時
場所: プラッツ第5会議室(ルシーニュ6階)
参加費: 200円(40名・定員になり次第締め切り)
*申し込みと詳細はサロン事務局まで。

■「ミャンマーのお話」

- 7月12日(木) 午後2時〜4時
場所: プラッツ「国際交流サロン」
(ルシーニュ5階)
参加費: 100円(15名・定員になり次第締め切り)
*申し込みと詳細はサロン事務局まで。

■月例「勉強会」

- 7月18日(水) 午前10時〜12時
場所: サロン第1会議室
テーマ: 「会話授業の進め方」

神社を一緒に歩き、体験を共にすることでたくさんの方と話がはずみ素敵な一日となりました。

参加者全員が時間をきちんと守ってくれたおかげで約8時間の旅を無事終えることが出来ました。みなさま、ありがとうございました。



高麗神社入り口で

世界の文化

～'18年度バス研修会体験報告～

「歴史ある神社に感動」

才丸パンナライ(タイ)

サロンの皆さんと40人位バス遊行をしました。私はピンポンさんと一緒に座りました。バスの中は皆さん静かでしたが、私は久しぶりの遊行で、楽しくよくしゃべりました。自己紹介したり、お菓子を食べたり楽しくバスの中でも移動できました。

埼玉県の高麗神社という歴史ある神社を参拝させていただきました。タイでは、お祭りは仏教が中心で神社はありません。日本は神社とお寺と、大きな信仰が2箇所あるとても素晴らしい国だと思っています。また、今後もうまく共存し、豊かな深い歴史と伝統を受け継ぎ守って行くことが大事な事だと思いました。私も日本に来て神社の古い歴史、建物を見てとても感動しました。

次に、ピンポンさんからのお話です。

(編集部注：ピンポンさんは、久保田サンサニさんの愛称です。)



高麗神社の額

「たのしかったかみすきたいけん」

久保田サンサニ(タイ)

わたしたちは12じころさいたまでんとうこうげいかに つきました。かみすきをつくるまえにおひるごはんをたべました。サービスエリアのそとはひろくて、ベンチが いっぱいありました。わたしとタイじんのともだちとせんせいと いっしょにたべながらたのしいはなしをしゃべりました。そのサービスエリアはおもしろいおみやげのおみせがありました。わたしとタイじんのともだちと おみせにいっしょにはいって、しんせんなやさいと いろいろなおかしをえらぶのが たのしかったです。1時から、かみすきのせんせいは つくりかたを せつめいしました。それから、みなで じゅんばんに かみすきをけいけんしました。わたしは はじめて かみすきをつくったので、たのしかったです。つくった かみすきは きれいでした。わたしはよろこびました。ありがとうございました。



紙すきを楽しむピンポンさん

「大太鼓を叩いたくらやみ祭」

「日本語学習発表会を体験して」

リベラ アレックス(アメリカ)

ディン ティ タイン ハン(ベトナム)

5月、私はくらやみ祭に参加しました。実は、3年ほど府中市に住んでいますが、今年初めてくらやみ祭に行きました。これまでも、くらやみ祭には興味がありましたが、私はいつも忙しく、しかも、旅行していることが多くて行けませんでしたが、今年絶対に参加しようと思いました。

まず、府中国際交流サロンに行って、お祭りの参加者に会いました。そこで、はっぴを借りました。そして、集合場所へ行って二台の山車を待ちました。一台は大きい太鼓を載せていました。もう一台は八幡町の子供の山車でした。私は両方の山車を引きました。

私はバチを持って太鼓を叩きました。そのバチは重かったですが、太鼓に当てると大きな音がして爽やかな気持ちになりました。太鼓をたたくのは気持ちいいと思いました。

山車を引くのは重くて大変でした。でも、お祭りに参加できてとても誇らしい気持ちになりました。私は外国人ですが、府中に住み続けているうちに府中が私の古里のように思えてきました。

私は日本へ来たばかりの頃を思い出しました。その時は日本語を全然分かりませんでした。

日帰り旅行に行った代々木公園に人が多かったのですが、私は迷ってしまいました。その時「日本語がうまく話せると良いなあ」と思いました。それで、友達に府中サロンを紹介してもらいました。

2016年11月からサロンで勉強をはじめました。熱心に教えて下さった内田先生のおかげで、私は徐々に上手になりました。短い時間を勉強したものの、私はちょっと緊張しました。

今回の発表を通して、私は皆さんにベトナムの旅行情報を伝えたいと望みました。自分の一番好きな観光地のようなダナン市を選んで紹介しました。

発表の準備にかかわって、私は新しい文法と漢字も覚える事が出来ました。今回は私も他の国の面白い情報をたくさん知ることが出来ました。この大会に参加してとても良い経験をしました。

先生とサロンの皆さんに御礼を伝えます。これから先生とせっせと勉強します。



くらやみ祭で大太鼓に挑戦

ファム ティ チャン(ベトナム)

皆さんこんにちは！

今年国際交流サロンの日本語発表会に参加しました。今回自分にとって初めての日本語のスピーチでした。まだ半年しか日本語を勉強していないので、皆さんに比べて上手じゃありません。

発表するときすごく緊張していました。今でも時々その日を思い出して、まだわくわくを感じています。ですが、とても楽しかったです。

最初先生から発表会を勧められた時、何回も断りましたが、先生が優しく応援してくれますので参加を申し込みました。

原稿を書いて何回も練習してやり直しましたが、私の発音が上手く出来ません。発表を行った時緊張しすぎたので小さい声で発表しました。



発表が終わってどきどきが止まりました。発表に
参加して日本語だけではなくいろいろな国の文化を
知るし、沢山友達も出来て楽しい経験をしました。
今回まだ上手く出来なかったが自信を持って話すよ
うにもっと日本語を勉強したいです。

みなさん一緒に勉強して頑張りましょう。



李 俊松 (中国)

この度、国際交流サロンの発表を参加して光栄で
した。そして、発表を誘って頂いた先生に感謝をい
たします。

発表会の申し込みは暇がありましたが、発表の
準備をやっていた時、急に実験などの用事がたくさ
ん入りました。その故、今回の発表会の準備は十分
とは言えなかった。原稿を作った後、練習すらあま
りやりませんでした。発表の時でも時々原稿を見
るながら発表をやりました。さもないと、発表はき
っと順調に進めないでしょう。準備は不足なので、
発表前の私はすごく緊張でした。皆は私の発表
を理解できるかどうかを心配しているのです。でも
リスナーの皆さんは乗ってくれました。私は非常に
うれしいと感じました。次にチャンスがあれば、きっ
ともっと良いな発表を作りたいとおもいます。

以上は今回の発表会に、私の発表について、ほ
んのちょっとした感想でした。

「台湾のおへそ一埔里」

温 明儀 (台湾)

私のふるさと・埔里は、台湾の真ん中に位置して、
唯一海に臨んでいない南投県の中心にある山の町で
す。町の外れにある虎頭山という山が台湾の中心線
に当たる場所とされ、山頂に一等三角点を示す石柱
が建っていて、埔里は「台湾のおへそ」と呼ばれてい
ます。

昔から埔里は素晴らしい「4つのW」で有名にな
っています。まず1つ目は「Weather (天気)」です。
四方を山々に囲まれる盆地地形をしているので、風害
が少ない。また、亜熱帯湿潤気候で冬は暖かく夏は涼
しい、とても過ごしやすい町です。

第2のWは、「Water (水)」です。台湾の中央山脈
の3000メートル以上の山々から溶けた雪は標高700
メートルほどの埔里を経由して、西にある台湾海峡
に注ぎ込みます。そのため名水と賞賛される湧水も
あり、戦前から埔里社酒造株式会社として、日本酒の
工場が造られ、皇室献上の清酒を作っていました。
そして戦後になり、国民党政府が持ち込んだ製法で
「紹興酒」が作られ、今では埔里の名産になってい
ます。従って、「Wine」を含め広い意味のお酒が3
番目のWになったわけです。

自然環境の恩恵を受ける上に、この盆地に暮らして
いる人々のなかに、戦前高砂族と呼ばれる先住民族
のタイヤル族、セデック族、ブヌン族など複数の
平埔族や、そして400年来移民してきた漢族（福建系
と広東系）住民が加わって、また戦後中国から渡って
きた各地出身の軍人たちが雑居しているため、埔里は
いわゆる「台湾の民族のるつぼ」とも言えるように、
多民族の人々が結婚による混血した結果、有名な女優
をはじめ、「美人 (Women)」が4番目のWとして輩出
しています。

近年、わがふるさと・埔里にロングステイされている
日本の方が増えつつあり、皆さまは是非とも一度訪
ねてはいかかでしょうか。最後に一言、「飛行機で行か
れるので、絶対『こうかい』はしません」。(笑)

わたし 私の☆つばやき

「雨の日の紫陽花散歩」

文化交流部会 里村 恵



虎頭山のみもと



台湾紹興酒を醸造する埤里社酒造

「農工大留学生によるポスターセッション」

午後部会 安島文江

6月7日(木)、農工大留学生によるポスターセッションが農工大グローバルカフェで行われました。

このポスターセッションは、農工大府中キャンパスで日本語を勉強している留学生が、自国の面白いものを図や写真を入れたわかりやすいポスターを作り、目の前で参加者の質問を受けいろいろなやり取りをするものでした。

ポスターの内容は、伝統的な食べ物の作り方、そしてその食べ方、その国独特のお祈りのやり方、古くから伝わる織物の紹介等々、様々なものがありました。こういったいろいろな国の文化の紹介を、たいへん興味深く見させていただきました。そして説明者の日本語が素晴らしくわかりやすいものでした。また、説明者の中にサロンの学習者も参加しており、嬉しく頼もしく思いました。

今後、今回のポスターセッションのような、説明する側と聞いている側がより身近で一体感が生れる形式をサロンでも取り入れていけたら、と感じました。



自国を紹介する農工大留学生

文化交流部では活動の一環として6月15日に郷土の森公園にて「紫陽花を鑑賞する会」を開催しました。雨天の中でしたが、学習者9人、ボランティア8人の参加がありました。

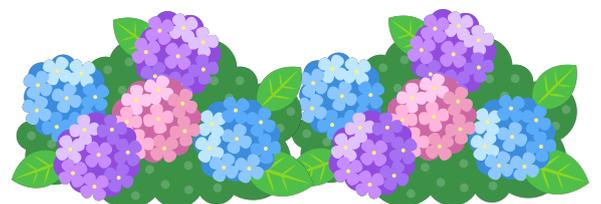
雨のしずくを受け華麗に咲く花々は思いのほか幻想的で雨に感謝したくらいでした。従来のホンアジサイに加えハイドランジア、ガクアジサイ、ポップコーンなどカラーも白、ピンク、ブルーと色とりどりで私たちを充分に楽しませてくれました。

鑑賞後は茶席体験にて日本文化に触れたりランチパーティーで持ち寄ったお弁当や会話を楽しみました。

茶席では掛け軸の読み方の「一期一会いちごいちえ」を聞いた一学習者が「それはどんな果物ですか?」と問い返したり、昼食時の自己紹介では「新幹線しんかんせん」の発音と似た中国の甘慎専さんが「私はよくしんかんせんと呼ばれますが乗り物ではありません。生き物です。」と言ったり、あるタイの女性は「なんというお名前ですか?」の問いに「なんです。」「いえ、お名前はなんですか?」に又「なんです。」との再度の答えでようやく名前がナンさんだと理解したり・・・。

愉快的やりとりでよりお互いの交流が深まり価値のある会になりました。

7月初旬はまだまだ紫陽花が楽しめます。皆様雨天でもいとわず是非おでかけください。





俳句随想～2～

「夏に想う」

金曜夜ボランティア 赤木喜代恵

俳句歳時記の夏は、立夏より立秋の前日迄であるという。夏の俳句、四句を挙げる。

かるやかに 蛇ころも脱ぐ われも脱ぐ
ひまわりの いのちはまろく ひもまろく
青葉闇 そこにも黄泉の 扉が見えて
五月なり あゝこの老いに また会いぬ

蛇ころも脱ぐ、ひまわり、青葉闇、五月が季語である。

蛇は春彼岸頃、穴を出て夏、主として活動、そして衣を脱ぐと云う。尻尾から頭まで、鱗も目玉、鼻の先迄綺麗に脱皮すると云う。私も生き方を更えたいと願う時がある。蛇のように見事な脱皮は出来ないが、少しずつ変えているのに気付いた。

新潟県上越市の友人は、休耕田にひまわりを植えている。目路遙か、空とひまわりの世界をひらかなのみで作句した。漢字の入る余地がない。

私は、中年迄病弱だった。「元氣にならないと先に逝けない」と父を嘆かせた。それが近く九十八才になる。作家、宇野千代は、「私、死なない様な気がする」と書かれ、九十八才で逝かれた。

インドの昔話に、人生に四つの時代があり、最終は「林生期」と云う。死の近い事を悟った人は、一人林に入り、生を終えたと云う。孤独死を当然としている。この頃の私は、何となく日が経ち、死の近くにいる実感がうすい。それなのに俳句は年令相応である。私の中に二人の私がいる。

広辞苑に、「俳諧で季語を分類して解説や例句をつけたのが歳時記である」と説明している。季語が入って五七五の形式を踏むのが、「有季定型」と俳句の世界でいわれている。高浜虚子が強く主張されたという。現在でも「有季定型」の人が多い由、私もこの考えで作句している。

みな

がくしゅうしゃしょうかい

皆さんよろしく◇学習者紹介

ゾルタン グラジケビッチさん(ハンガリー、英国)



「コスモポリタンな家族です」

ゾルタンさんは、ハンガリーで生まれ育ち、国籍はハンガリーなのですが、英国籍も保持しています。

そしてロンドンで逢い、結婚した奥様は日本人です。今4歳になるお嬢さんがいらっしやり、今年の4月から日本に住んでいて、家族全員日本の生活を楽んでいます。

来日してすぐにサロンで週3回日本語を勉強しています。サロンはみな親切ですし、グループレッスンではなく、マン・ツー・マンで教えてもらえるのがとても気に入っています。

今までITのプログラムデザイナー、数学、地理学、政治学など、ハンガリーの大学、英国の大学で勉強しました。向学心の旺盛なゾルタンさんは、日本の大学でも勉強したいとの夢をもっています。

日本の印象は、思っていたより良く、日本食はどれも大好きで、お寿司など生の魚も食べることができます。

日本語は「おしゅうございます。」という言葉がすごく面白くて、気に入っています。(堤林)



こうしゅうかいほうこく
～スキルアップ講習会報告2～

がくしゅうしゃ はあく
「学習者のニーズ把握と
ニーズに合った教材選び」

けんしゅうぶかい かよう ゆみ こ
研修部会 萱生由美子

だい かい こうしゅうかい がつ にち ど じょうき
第2回の講習会は、6月16日（土）上記のテーマ
で行われ、34名が参加しました。

まずは学習者のニーズの把握です。用意されたA、
B、C、D（4人）のフェイスシート（登録ノート）
を見て、そこから分かる情報を基に彼等のニーズを
聞き出す質問を考えます。そして学習者の日本語レ
ベルがどの程度なのかをチェックします。

<質問の例>

- お国はどちらですか。
- いつ日本に来ましたか。
- いつお国へ帰りますか。
- サロンへ歩いて来ますか。
- 府中のどこに住んでいますか（「て形」が言える
→14課程度）。
- ご家族は何人ですか。
- 日本語はどこで勉強しましたか。
- どうして日本に来ましたか（目的）。

このような質問を続けていくと、相手の答え方によって、
本人の日本語のレベルがわかります。そして、来日
目的や生活環境が分かれば教材を選ぶ段階になり
ます。

今回は多様な学習者に適した教材を、滞在年数や
ニーズによって、あるいは目的別に柏崎先生からご
紹介頂きました。

【滞在年数や学習者のニーズに応じた教材】

- ① 短期滞在学习者（3～6ヶ月）
- ② 滞在1年程度の学習者
- ③ 滞在2年以上（またはその予定）
 1. コミュニケーション力の向上を目指す-----
主婦、学生
 2. 日本語能力試験を目指す-----社会人、留学生、
日本語学校生
 3. トピックを中心に話をしたい社会人

【目的別指導教材】

- ① 文字指導
- ② スポット教材
- ③ 情報提供型

（教材の詳細はサロンの記録をご覧ください）

そして最後に、サロンで広く使われている「みんなの
日本語初級 I・II」と「文化初級 I・II」、そして
新教材の「にほんご これだけ1・2」を取りあげ、
それぞれの本の対象、シラバス（教授項目）、特徴
についての詳しい説明がありました。私達が日頃何
となく使っている教材がどんな意図で作られ、それ
をどう使ったらよいかははっきり分かり、大変参考
になりました。

ひろ ば
みんなの広場

だい かい こうしゅうかい あんない
「第3回スキルアップ講習会ご案内」

ボランティアの方々を対象とした「スキルアップ
講習会」を5月、6月に実施しましたが、それに続く
第3回目の講習会を下記の要領で実施いたします。
前2回の講習会には、いずれも約40名の方々が参加
され、「とても参考になった」という多くの声をいた
だきました。第3回目は助詞についてです。日頃の
日本語学習会に役立てるよう、多くの方々のご参加
を是非お待ちしております。

【第3回スキルアップ講習会】

テーマ：「初級で学ぶ助詞の種類～導入と教え方」

講師：柏崎雅世先生

対象：サロン・ボランティア（学習者も可）

日時：9月22日（土）午後2時～4時

場所：サロン3階・第2会議室（学習会の部屋）

参加費・無料

（研修部会）

なつやす りよう あんない 「夏休みのサロン利用ご案内」

へんしゅうこうき 編集後記

7・8月号もすてきなお話がたくさん集まりました。学習者のみなさんの文を読むと、楽しく日本語を学ばれているのがわかります。

ことばのセンスをみかく方法のひとつに回文があります。前から読んでもうしろから読んでも同じ文です。「竹やぶ焼けた」が有名ですが、実はふだんの会話にも入っています。

- ・中野なのかな？
 - ・関係ないケンカ
 - ・だめだモチ期が来てもだめだ
- 英語にもあります。

- ・No lemon, no melon (レモン無くしてメロン無し)
- ・A Santa at NASA (NASAのサンタ)
- ・I did, did I? (わたしがやったよね?)

みなさんの国のことばではどうでしょう。日本語の勉強中におもしろい回文をみつけたら、教えてください。(岩城)

今学期の日本語学習会は、7月20日(金)で終わります。新学期は、9月3日(月)からはじまります。

サロンは、7月21日(土)から9月2日(日)まで夏休みになりますが、その間、以下の日程で自由に学習ができます。

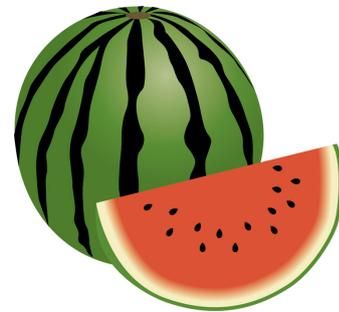
日程：7/23～8/31の月曜・水曜・金曜日

時間：午前10時～午後4時

場所：第1会議室(サロン事務局の隣の部屋)

*学習を希望する方は、学習日をサロン事務局の方に伝えてください。

また、サロン事務局は、夏休みの間、月曜から金曜の毎日、午前10時から午後4時まで開いています。第1会議室、事務局とも、ぜひご利用ください。(編集部)



【編集】会報部会/和田、堤林、岩城、増田
【事務局】電話：042-352-4178

E-mail: mail@fuchukokusai.gr.jp

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>